

いっぴたん^{飯南}



いいなんちょう
飯南町広報
平成21年9月18日 No.57

9月号

特集:自主防災活動「今、災害に備える!!」

まちの話題・町のうごき・お知らせなど

ぶどう畑(小田地区)

みんなで参加しよう

防災訓練

10月4日(日)防災訓練を実施します

飯南町では「飯南町地域防災計画」において、防災関係機関及び住民等が一体となり、初動活動の訓練や各防災機関との連携訓練など災害応急対策について、実践的で実効性のある総合的な防災訓練を行うこととしています。

訓練は関係機関との緊密な協力、防災意識の高揚を図るために実施するものです。

平成19年度に行った防災訓練では、震災を想定して避難路を点検しながらの避難誘導訓練を中心に実施しました。

今年は、土石流発生やがけ崩れなどを想定し、要援護者〔一人暮らし高齢者・身体の不自由な方など〕の避難支援対策などを重点に行う予定です。

実施日／平成21年10月4日(日)

8:30～12:00

想定災害／風水害(台風豪雨)

被害地域／飯南町

対象者／飯南町住民

訓練内容

台風豪雨による土砂災害を想定した、要援護者の安否確認及び避難誘導訓練、情報伝達訓練など。

今年は避難訓練終了後、各地区の皆さんで土砂災害ハザードマップの点検を行います。

警戒区域(イエローゾーン)、急傾斜・地すべりなどの危険箇所、避難所、災害時要援護者施設などの基礎情報が表示された図面へ、過去の実績を踏まえた危険箇所、避難所までの避難経路など、新たな情報を表示する作業を行います。

その後、町内4会場で防災研修会を開催し、炊き出し訓練を併せて行います。

当日のスケジュール

8:30	情報伝達訓練
9:00	避難及び避難誘導訓練
9:30	土砂災害ハザードマップ点検作業
10:15	移動 ハザードマップ点検施設から防災研修会場へ移動
10:45	防災研修会 ①頼原農村環境改善センター〔みせん〕 防災学習会(土砂災害)、炊き出し訓練 ②さつき会館 赤十字救急法、炊き出し訓練 ③来島基幹集落センター 防災学習会(水防)、炊き出し訓練 ④赤名農村環境改善センター 救命講習(AED、応急手当)、炊き出し訓練 ※研修会の内容が一部変更になる場合があります。
12:00	終了

3

災害発生時における緊急避難行動のポイント

1 避難は早めに
「まだ大丈夫」もう少し後で」などと自分で勝手な判断をしないこと。
特に乳幼児・高齢者・病人や身体の不自由な人がいる場合には、早めに避難することが大切です。

2 情報収集を怠らない
近年、各地で大雨の被害が相次いでいます。突然襲ってくる地震と違い、集中豪雨は気象情報によって、どこでいつ頃発生するかを把握することができま

3 携行品は必要最小限に
携行品は多すぎると避難に支障がでるばかりか、周りの人に迷惑をかけることにもなります。必要最小限にとどめましょう。

4 要援護者の救助
要援護者にはまず声をかけ



て、避難所へ誘導しましょう。
目の不自由な人には大きな声でゆっくりと話しかける、耳の不自由な人には筆談をするなどで対応し、身体の不自由な人には複数の人で対応するようにしましょう。

飯南町では、災害時要援護者避難支援指針を策定しています。その中で、他者の援助がなければ安全な場所に避難することができない住民に対しては、行政・関係機関・地域が連携し、避難支援を行うこととしています。飯南町では約300人が要援護者として登録されています。

非常用品 持ち出し品リスト

- 携帯ラジオ(小型でFMとAMともに聴けるタイプ)
- 懐中電灯(ろうそく予備の電池)
- ヘルメット(防災ずきん)
- 非常食(携帯性がよく、調理不要で満腹感が得られるもの)
- 飲料水(ミネラルウォーターなど)
- ライター、マッチ
- ナイフ、缶きり、栓抜き
- ティッシュ、ウェットティッシュ
- ビニール袋
- ベビー用品
- 衣類、ハンカチ、タオル
- 雨具
- 生理用品
- 救急医療品、常備薬
- 携帯電話の緊急用乾電池式バッテリーなど



防災に関するお問い合わせ ▶ 飯南町総務課防災担当 TEL 76-2211

特集

自主防災活動

今、災害に備える!!

さまざまな自然災害が発生しやすい日本では、いつ我が身に災害が降りかかるか、わかりません。自然災害は人の命や建物、道路、田畑などに大きな被害を及ぼします。地震や豪雨などの自然の力による災害は完全に防ぐことはできませんが、日ごろの防災対策によって、被害を減らすことができます。

今月は、私たちが普段から取り組むことのできる防災対策(主に水害発生時を想定)を紹介します。

日頃は防災と言っても、一体どこから、何から、手をつけて良いのかわからない「ここは大丈夫」災害対策は明日考えればよい」など防災に対する意識が薄れていたりするのではないのでしょうか。

このような防災意識の持ち方で、いざ災害が発生した際に対応できるかどうか、大きく変わります。

万一のときに慌てないため、日ごろから家庭で防災について話し合い、避難場所や家族間の連絡の取り方を確認しておきましょう。また、3日分程度の食料や飲料水などを備蓄し、非常時の持ち出し品の準備・点検などもしておいてください。

さらに、地域で行われる防災訓練に積極的に参加するなど、災害が発生したときに、協力し合って速やかに避難できるようにしておきましょう。

こんな状況が確認できたら早めの避難を

土砂災害発生の前兆

- 土石流
- 山鳴りがする
- 急に川の流れが濁り流木が混ざっている
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- 腐った土のおいがする
- がけ崩れ
- がけに割れ目が見える
- がけから水がわき出ている
- 土砂災害発生の前兆
- がけから小石がばらばらと落ちてくる
- がけから木の根が切れる等の音がする
- 地すべり
- 沢や井戸の水が濁る
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水がふき出す
- 家や擁壁にきれつが入る
- 家や擁壁、樹木や電柱が傾く



写真はイメージ

2

都会の大学生が農業を体験



関西大学・島根大学の学生
合せて22人が農業を体験



8.19(水)

この農業体験を行ったきっかけは、大阪で島根県産品の販売を行っている後藤匠彬さん(島根大)と、これまでも各地で農業体験を実施している関西大学との交流から実現したもので、関西大学の農業実習は飯南町では初めてとなります。

学生たちは慣れない農作業に苦戦をしていますが、収穫したジャガイモを口にし、普段とは違う味を堪能していました。

このような体験を通して、農業への理解と、飯南町での就農に興味を持ってもらい、また、大阪に戻って飯南町の農産物のPRに貢献してもらえことを期待しています。



お盆の風物詩を継承
赤名公民館盆踊り大会

8.15(土)



赤名公民館では、今では行なわれなくなってきた盆踊りを継承するため、毎年、盆踊り大会を開催しています。

会場となった赤名町民グラウンドにはやぐらが建てられ、口説きにあわせ、「山くづし」「ばんば」を踊りました。

当日は帰省客も含め約200人が集まり、ふるさとの盆を満喫していました。踊りの後のお楽しみ抽選会では、飯南町の特産品が多くの人に配られました。

広島子どもたちが
宇山地区で体験交流会

8.18(火)

住民グループ「森と水企画草の城(頼原・上区)と広島市の「里山の自然を愛する会」が、広島の子どもたちを招いて体験交流会を開きました。

この企画は3年前からスタートし、今年は矢口ヶ丘子供会(広島市安佐北区)の子どもたち約100人が来町しました。

子どもたちは、やまめのつかみ取りやカブトムシ取りを生き生きとした顔つきで楽しんでいました。



心も体もリフレッシュ
谷地区で太極拳を体験

8.22(土)



谷自治振興会で健康づくり事業の一環として、太極拳体験が行われました。

講師は、以前にも谷地区で指導をされた山陰太極拳連盟代表の西村敏さんが行いました。

会場となった旧谷小学校体育館には30人が集まり、独特の緩やかな運動で気持ちのいい汗を流しました。

谷自治振興会では、今後もこの活動を続けていく予定としています。

人形劇団 どむなん 公演
生の人形劇を上演

9.3(木)

「子供と生の芝居を観る会」では町内の子どもたちに、生の芝居に触れ、いろいろなことを感じ、体験してほしいという思いから、平成3年から芝居の公演会を開いています。

19回目を数える今回は、人形劇団「どむなん」を招いて「でんでんむし」にやーこ」の2演目を上演しました。

会場となった来島基幹集落センターには会場いっぱいとなる子ども連れ250人が集まりました。

劇が始まると、劇団の皆さんは巧みに人形を操り、人形



真夏を奏でる

ブラスの響き

頼原中学校

サマーコンサート

8.23(日)



ふれあいホールみせんを会場に第27回頼原中学校吹奏楽部サマーコンサートが開催されました。

いいなんブラススウィングとの合同演奏では、総勢58人による迫力の演奏に、会場に集まった約130人の観客は魅了されていました。

終盤には観客にペンライトが配られ、観客の皆さんもリズムに乗りながら左右にペンライトを振り、会場が一体となった演奏会となりました。

飯南高校赤来中学校合同定期演奏会

8.23(日)

赤名農村環境改善センターを会場に、飯南高校17人と赤来中学校16人の両校吹奏学部による演奏会が開かれ、日頃の活動の成果を披露しました。

生徒たちはアンコールを含め「青空と太陽」口笛吹いて働こう」など全11曲を演奏し、会場に集まった約100人の観客からは、大きな拍手が送られていました。





- (注1)
- 飯南町集落活性化協議会
 - 上赤名自治振興協議会
 - 小田真木自治振興協議会
 - 企業組合さとやま企画
 - 森と水企画草の城
 - 飯南町まちづくり推進室
 - 島根県中山間地域研究センター
 - NPO支援全国地域活性化協議会
 - ランドブレイン株式会社

両自治振興協議会ではこの事業の中で、地域の歴史や文化の掘り起こし、里山管理や地域資源を活かした交流事業により、都市住民との交流を積極的に進め、自立した地域と魅力溢れるふるさとづくりに今後取り組んでいく予定です。

【上赤名地区】
上赤名瀬戸地区では地域環境保全と地域資源である銀山街道の景観保全として竹林整備活動が行なわれ、地元住民をはじめ県外の方もあわせて約40人が、3時間かけて竹林整備を行いました。
作業終了後は、焼肉を囲んでの懇親会が開催され、参加者は親睦を深めていました。

【小田真木地区】
小田真木地区でも豊かな自然を活用した星空観察会が盛大に行なわれました。当日は天候にも恵まれ、約60名の参加がありました。
講師の指導により参加者一人ひとりが思い思いの星を観察するなど楽しい時間を過ごしました。

上赤名地区・小田真木地区で地域活動を実施
上赤名、小田真木両自治振興協議会は、平成19年度から農林水産省の農山漁村（ふるさと）地域力発掘支援モデル事業に取り組んでいます。

8月23日(日)

新成人64人

〔敬称略〕

沙織 慧平 里加 弥子 輔司 志利 香奈 志美 沙望 美広 成彦 公都 也優 佳奈 貴理 鳥穂
伊達 田部 原森 田塚 月戸 朽木 永田 石深 藤原 藤原 藤原 星野 尾松 本島 三嶋 城見 森安 柳原 岡村 田邊
達也 貴子 由知 雅昌 恵美 奈美 祥太 沙美 由美 千鶴 千恵 佳奈 香保 幸佳 史孟 和琴 乃葉 侍也 睦
安部 安部 石川 飛持 板貝 倉谷 後庭 大落 小野 小村 加瀬 片岡 加藤 金岸 桐原 河野 小玉 林藤 白石 砂須 高瀬 口竹



飯南町成人式挙行

今年は64人が大人の仲間入り

8月15日(土)

赤名農村環境改善センターを会場に、成人式を挙行し、今年は54人が参加しました。
式典では、全員で町民歌を斉唱した後、出席者の名前を一人ひとり読み上げました。
山崎町長が、「人に対する思いやり、友人や家族・ふるさとを思う気持ちをいつまでも心に置いてほしい。飯南町で生まれ育ったことに自信と誇りを持って、これからの人生を歩んでほしい。」とお祝いの言葉を送りました。
成人者代表として、安部由貴子さん(上)



誓いの言葉をのべる安部さん



来島)が、私たちをあたたく見守ってくださった多く皆様に感謝し、このふるさと飯南町を大切に思う気持ちを忘れずに頑張っていきたい。」と誓いの言葉を述べました。
会場では、久しぶりに会った友人と楽しげに語る姿があらうこちらで見受けられました。

飯南町の医療を考える集い

9月4日(金)ふれあいホールみせんを会場に、飯南町の医療を考える集いが開催されました。

これは、住民みんなで、飯南町の医療の現状の理解を深め、共に医療のあり方を考えようと、飯南町の医療のあり方検討委員会が主催となり開催したもので、会場には地域住民など約200人が集まりました。

はじめに、基調講演として中川正久さん(島根県参事)から、島根県の医療の現状と課題について講演がありました。

中川さんは松江・出雲圏域に比べて雲南圏域では医師数が約10分1と少なく、地域格差が起きていることなど、県内の医療の現状について話しました。

講演会の後は、福祉施設・消防・住民代表の3人の方から意見発表が行われ、それぞれの立場から飯南町の医療に対する思い、要望等が語られました。



グループ討議の様子

最後には、全員でグループ討議を行ない、参加した方からは、
・「近くに病院があることは日々の生活に安心感がある。」
・「病院の先生をはじめ医療関係者の皆さんに感謝をしている。」
・「今日の会で病院に対する考え方が変わった。またこのような機会があれば良いと思う。」
・「あつて当たり前という意識を変えよう。」
・「病院に関するいろいろな



講演する中川正久さん

情報をもっと伝えてほしい。」
・「住民に関心が持てるようにもっとPRしてほしい。」

以上のような意見が出され、中川さんは、飯南町の皆さん

の病院・医療に対する意識の高さに驚いている。皆さんの意見を聞いて、県としても飯南の医療を守らないといけないという意識が強くなりました。」と述べました。
今後の医師確保の状況によつては、現在の診療体制の見直しを含めた対応が必要になると考えられます。今回出た意見を踏まえ、検討委員会では今後の方向性について更に検討していきます。

赤来高原観光りんご園が開園しました



今年も9月1日から赤来高原観光りんご園が開園しました。同園には、もぎたての味覚を味わいに県内外から毎年多くの方が訪れ、好評を得ています。
園内には8品種のりんごが栽培されており、9月はじめの「つがる」さんざから11月中旬の「ふじ」まで、様々な味覚が楽しめます。皆さんご家族でお越しください。

開園期間

11月15日(日)まで
期間中は無休

国道54号の持続的活用を考える飯南の会発足

中国横断自動車道尾道松江線の開通に伴い、交通量の減少が予測される国道54号。その沿線にある飯南町の活性化について、社会資本整備や町内資源を活用しての地域活性化策、近隣市町との連携による地域づくりなど、将来の基本方針を考えることを目的とし、この会を発足させ、9月7日(月)に第1回目の委員会を開催しました。

この委員会には、学識経験者、町内道の駅駅長、飯南町商工会員、住民、県外専門家、行政関係者等で構成されており、島根大学教育学部野田和准教授を座長とし、委員の方の幅広い視点から今後の国道54号の活用や飯南町の地域活性化策について協議、検討していくことになりました。

や今後の尾道松江線の動向などを踏まえ、今後の協議、検討事項について委員の意思統一を行ないました。

具体的には次の内容について今後検討していきます。

- 飯南町の地域活性化策に関する事項(産業・観光・生活・文化等、巻き込んだ中山間地域の拠点づくり)
- 近隣市町や町外機関との地域活性化に関する事項(圏域と連携したアクセスポイントとしての役割)
- 飯南町に関わる社会資本整備(道路等)に関する事項(尾道松江線と共存した幹線道・支線道のあり方検討)

尾道松江線は平成20年代半ばに開通予定で、開通後は国道54号や沿線にある飯南町にとってはかなりの影響がでるものと思われま。

今のうちから国道54号を魅力あるものにし、松江尾道線と共存しながら飯南町が持続的に発展できるよう、今後も委員会で協議を重ね、委員の意見をまとめて、本年度中にアクションプランとして策定します。

・実現性のあるものにして欲しい。

・民間は常に利潤を上げる努力をしている。行政側もその動きを理解すべきである。

・住民代表として飯南町が元気になるよう頑張っていきたい。

・農業体験を観光の一つと位置づけ、田舎ならではの楽しさを知ってもらいたい。

・成功事例や失敗事例など参考にし、時には突飛な意見も必要である。

・住民が町の取組など知らないこともある。住民にもこの会で検討している内容について周知し、町内全体で取組む必要がある。

・検討する事を整理し、色々な方から意見など聞くことも必要である。など。

委員会での主な意見

赤名短歌会

- *奥出雲の山越えゆきし青年はついに還へざり今日原爆忘
- *終戦の記念日来ると思い出すラジオ聞きつつ土下座して泣いた
- *生きたある衣しみひとつ紫陽花の青く冷たく濡れて咲きとり
- *一天が俄にくもりてボツリ落つ雨脚の早し我が足よりも
- *引揚の苦しみを経て医師となりし二人の弟よ逝きしは悲し
- *巧みなる話につられ迂闊にも言ひし言葉を手を拾ひたし
- *英霊と称えられつつ還り来し父の遺影抱くし男の子歳なりき
- *人の影を石に残した原爆のひろしま忘れまじ巡る八月
- *車窓より見る瀬戸山の城址は緑の中に浮かぶが如く
- *さらさらと真夏に光こぼしつ揚げ羽蝶舞う午後の水辺に
- *雨多しいもら病かと佇める夫の指差すすずめの大群
- *冷夏なるかエコ米作り2009暑さをたのむぞ今日は立秋
- *沖鯊戦のひめゆりの塔の映画観てそもそも日本は何故に戦う
- *月一度市の病院を予約して診察を受けるも老人の仕事
- *「ひめゆり」の女生徒達は迫る死の一瞬を叫びぬ「助けて」の声

8月例会詠草

岩佐 恒子
日高美代子
清原 豊明
三島 久恵
安部 教子
本間 麗子
石田フクエ
源 光子
貝森フミエ
澤田久美子
門所 詠子
澤田 勝登
難波 幾子
佐々木りく子
中村三四二

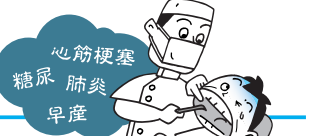
琴峯俳句会(盆一切)

会員作品抄

- *同席と云う縁あり心太
- *一兵も今だに生きて螢の火
- *盆の客らんまり座り一座とめ
- *補聴器に頼る余生や墓掃除
- *墓掃除見上げる枝に宝篋あり
- *お盆来りトンボも飛べぬ青空よ
- *盆客の一ト夜を惜しむ郷訛り
- *盆法座導師お年を重ねられ
- *故郷の味を満喫盆の客
- *盆法話我が来し過去を振り返る
- *刻まれし戒名なぞり墓洗う

石田シズカ
奥野 王貴
垣内 良野
片山 素文
那須ひろし
林 勝子
原 コウ
張戸ユキ女
政本 進美
森 征子
垣内 峯雅

いのち 彩る 生活



3 歯周病の合併症

3号連続でお送りしている歯周病シリーズの最終回として、今回は「歯周病の合併症」について紹介をします。

歯周病は歯のまわりが細菌に感染しておこる病気ですが、口の中に症状が現れるだけでなく、他の病気の原因につながるということが分かっています。代表的な病気は次のようなものがあります。

●肺炎

最近、肺炎で亡くなる人が増えてきています。日本人の死因の1割弱にあたり、癌・心筋梗塞・脳卒中について死因の第4位になっています。このように肺炎も、歯周病が原因となる場合があります。

食べ物が食道に入らず気管に入り込むことを誤嚥と言います。誤嚥を引き起こした時に肺に歯周病菌が入り込みそれが原因となって肺炎を引き起こすと考えられています。

特に、高齢者はこのような肺炎を起こす可能性が高く、注意が必要です。

●糖尿病

糖尿病の人は細菌に対する

抵抗力が弱く、歯周病になりやすいことは以前から知られています。

また、最近では歯周病菌が口の中にいると、血糖値を下げるインスリンというホルモンの効きが悪くなるということが分かっています。歯周病があると糖尿病も治りにくくなってしまうのです。

●心筋梗塞

歯周病の有る人は無い人と比べて、心臓発作を起こす危険がおよそ3倍にもなることが報告されています。歯周病菌が歯肉から血中に入って全身に広がり、血管の内側で小さな塊となって動脈をつまらせ、心筋梗塞を起こすのではないかと考えられています。

他にも早産、骨粗鬆症、メタボリック症候群の原因になったりもするといわれています。歯周病治療をしつかり行い、予防していきましょう。

お問い合わせ 飯南病院 TEL72-0221 来島診療所 TEL76-2309 保健福祉課 TEL72-1770

こんにちは中山間地域研究センターです

ドングリの木が枯れる！ナラ枯れ情報をお寄せください

ナラ類の枯死被害

島根県西部で発生したコナラやミズナラなど、ドングリのなる木が枯れる「ナラ枯れ」被害。飯南町でも二年前から少しずつ発生しています。

この被害は、カシノナガキクイムシという大きさが5ミリの小さな昆虫が運ぶ病原菌によって発生します。枯れ木には多数の虫が入っており、放置しておくことさらに被害が拡大します。

将来にわたって利用できる健全な林を維持するためにも被害対策が必要です。

重要な被害の早期発見

対策には早期発見・早期駆除が効果的です。そのためには、どこで被害が出ているか



枯死状態の被害木

ナラ枯れ被害木の発見ポイント

夏・秋期、通常の紅葉時期より早期に葉が赤褐色に変色し、枯葉を付けた状態で枯死します。

遠くから見てもとても目立ちます。

木の根元付近に木くずが付着して、地面に堆積しています。幹をよく見ると虫が開けた1ミリの程度の孔が多数あります。

「こんな木が、ここにあったよ」という皆様からの通報をお待ちしております。

連絡先
島根県中山間地域研究センター
森林保護育成グループ
TEL76・3822

個別労働関係紛争処理制度周知月間

一方的に解雇すると言われた、有給休暇がない、残業しているのに手当を払ってもらえないなどの労使関係のトラブルについて相談、あつせんににより解決のお手伝いをします。10月を周知月間として、同じサービスを行っている全国の労働委員会が共同で集中的に制度の利用を呼びかけます。

労働相談

島根県雇用政策課では、労働相談員が相談を受け付けます。個別労働関係紛争に関するものは、島根県労働委員会を紹介しします。

相談日

原則として毎週月・水・金曜日 8時30分～17時15分(面談電話)

Eメール(雇用政策課ホームページ専用フォーム)による相談も随時受け付けています。

あつせんとは
あつせんとは
あつせんとは

島根県労働委員会
0852・22・6557
0852・22・5450

斐伊川水系水源の森づくり 出雲市・飯南町住民交流会(植樹活動)の参加者募集

飯南町は水源を守るために、出雲市の負担金を受けて森林整備を行っています。この活動の一環として出雲市民と植樹を行います。皆さんもこの活動に参加してみませんか。

日時 10月25日(日) 受付 午前9時30分から 植樹場所 飯南町下島来島ダム周辺 詳細は後日連絡します 参加費等 参加費無料。お弁当と豚汁

「しまね版特区」をご存知ですか？

「しまね版特区」は、みなさんが地域の活性化のため取り組むものとして、事業が様々な規制により実施が困難なことに、規制の特例措置を設けることによってその実現を図る制度です。

市町村、民間事業者NPO、住民グループ、民間企業など、誰でも申請可能です。申請にあたっては、受付期間にかかわらずお気軽にご相談ください。

申請受付期間

10月1日(木)～11月2日(月) お問い合わせ 島根県地域政策課 まちづくり支援グループ 0852・22・6453

しまね若者サポートステーション

県と国(厚生労働省)の地域若者サポートステーション事業を受託している、しまね若者サポートステーションでは、現在仕事に就いていない、学校等にも行っていない15歳～39歳の若者本人やその保護者等を対象に相談を受け付けています。

また、状況に応じて、就労を支援するため、就労意識の啓発や社会性、協調性を身につけるプログラムによる支援も行っています。お気軽にご相談ください。

相談時間(要事前電話)

月曜日～土曜日 10時～18時

赤名駐在所が一時移転しました

9月10日(木)から、駐在所の建て替え工事のため赤名駐在所が一時移転しました。移転先は、現在の駐在所の広島県側に隣接する民家です。移転期間は来年2月頃までの予定です。業務は通常通り行っていますので、御用の方はお立ち寄り下さい。



お問い合わせ

0852・33・7710

相談場所

松江市朝日町478-18 松江勤労者総合福祉センター 松江テルサ3階 しまね若者サポートステーション

第1回 世界遺産フォーラム開催

10月31日(土)に大田市の大田市民会館で「第1回世界遺産フォーラム」が開催されます。当日は、テレビ等でお馴染みの楠田枝里子さんによる「世界遺産『ナスカの地上絵』の謎を追って」と題した基調講演もあります。

第1回世界遺産フォーラム「世界遺産～まもる・みる・いかす」

日時:平成21年10月31日 13:00～16:00
会場:大田市民会館(入場無料 但し事前申し込みが必要です)
基調講演:「世界遺産『ナスカの地上絵』の謎を追って」楠田枝里子さん
パネルディスカッション:「よりよい世界遺産へ～遺産保護と観光～」
申し込み方法:電話またはFAX・メールにて連絡
申し込み・問い合わせ先
世界遺産フォーラム実行委員会事務局
(島根県教育庁文化財課世界遺産室内)
TEL:0852-22-5642 FAX:0852-22-5794
Mail:bunkazai@pref.shimane.lg.jp
主催:世界遺産フォーラム実行委員会
後援:外務省・環境省・文化庁・観光庁



楠田枝里子さん
司会者・エッセイスト。三重県伊勢市に生まれる。東京理科大学理学部を卒業後、日本テレビのアナウンサーを経て、現在フリー。南米ペルー、ナスカの地上絵の研究と保護活動のため「マリア・ライヘ基金」を設立。貴重な世界遺産を守ろうと、国際的なボランティア活動に力を注いでいる。

10月は臓器移植普及推進月間です

しまねまごころバンクは、臓器・角膜・骨髄の移植医療の普及啓発活動を行っています。

臓器移植の現状 現在日本で臓器移植を希望し登録をしている方はおよそ12,500名。昨年度臓器を提供された方は109名、移植を受けられた方は259名です。登録している方のおよそ2%の方が移植を受けられました。

意思表示 臓器提供の意思表示は、臓器提供意思表示カード・シールへの記入、またはインターネットや携帯より意思登録が可能です。『臓器を提供したい』『臓器を提供したくない』どちらの意思も表示できます。ご家族とお話をされ、ご自分の意思を記入し、携帯しましょう。

グリーンリボン グリーンリボンは、世界的な移植医療のシンボルマークです。成長と新しい命を意味するグリーンで、ギフト・オブ・ライフ(いのちの贈り物)によって結ばれたドナー(提供された方)とレシピエント(移植を受けられた方)の命のつながりを表現しています。



県内高校生デザインの島根県オリジナル臓器提供意思表示カード

移植医療に関するお問い合わせ (財)島根難病研究所 しまねまごころバンク Tel: 0853-22-2556

今月の表紙
9月11日(金)小田地区のぶどう畑に伺いました。このぶどう畑は近隣住民11人の会員で管理され、平成19年に植付けし、今年が初めての収穫という事です。ここでは、ピオーネと紫玉の2品種を栽培し、ぶどう畑に入ると、濃い紫色に輝いた約100房の葡萄が実っていました。この日は、福祉施設フナの木の入所者13人が訪れ、採れたての葡萄を味わいました。入所者の一人は見事な葡萄を見て、まげな葡萄だわと、驚いた様子でした。



あこやか		やまなか	
新生児		8月届出分	
お名前	親族 地区	お名前	
小林 眞二様 (67)	清子 (頓原町区)	白石 和太様 (赤名)	真悟 (赤名)
景山 明子様 (78)	誠二 (下赤名)	白石 湊真様 (優治 (頓原町区))	
永妻 國廣様 (90)	和博 (下赤名)		
高橋 サカエ様 (76)	長年 (長谷)		
吉川 公子様 (85)	隆司 (赤名)		
坂井 一様 (87)	勉 (下赤名)		
藤原 義廣様 (93)	憲人 (八神川西)		
中岡 文子様 (75)	季雄 (赤名)		
足立 祐治様 (44)	美智子 (下赤名)		
大嶋 典様 (75)	恵子 (赤名)		

まちのスケジュール

2009 平成21年 10月

日	月	火	水	木	金	土
9/27 * 秋のウォーキング大会 * とんぼ探検隊 (頓公:生涯学習センター) * 県民の森 読図訓練	9/28 * スマイルりんご (来島保健センター)	9/29	9/30	1 □ 頓原小フリー公開 (~2日)	2 □ 頓原小授業公開・人権同和教育講演会	3 □ 桜ヶ台保育所運動会 * 名月鑑賞会 (県民の森 ~4日)
4 * きのご狩り (県民の森) * 第3回飯南町銀山街道ウォーキング * 飯南町防災訓練	5 * スマイルりんご (来島保健センター)	6 □ 飯南高校国際交流体験学習 (~9日)	7 □ 中学校雲南・飯南新人大会 * 軽体操 (保健福祉センター) * グラウンドゴルフ大会 (赤公:赤名山村広場)	8 □ 中学校雲南・飯南新人大会 * 行政相談 (憩いの郷衣掛)	9	10 □ 赤来中授業公開・PTA総会 * 子ども活動 (来公:来島基幹集落センター)
11 * 第19回東三瓶コスモス祭 (東三瓶フラワーバレー)	12 体育の日 * 頓原公民館町民ハイキング・とんぼ探検隊 (生涯学習センター)	13 □ 中高3校合同R54清掃活動	14 □ 雲南保育研究会 (来島保育所)	15 □ 合同遠足 (さつき・桜ヶ台保育所) * 志々公民館わらべの学校 (志公:さつき会館) * 飯南町地域づくりリーダー塾 (赤名改善センター)	16 * 子育て世代食講座 * わらべの学校 ~17日 (志公:さつき会館) * ふれあいグラウンドゴルフ大会 (志公:八神山村広場)	17
18 □ 来島小授業公開 * 頓原公民館まつり (頓公:保健福祉センター) * 大万木山ブナ林トレッキング (県民の森) * 女性グラウンドゴルフ大会 (赤公:赤名山村広場) * 飯南町ふるさと教育フェスタ (保健福祉センター)	19 * スマイルりんご (来島保健センター)	20 □ 志々小授業公開	21 □ 合同遠足 (赤名・来島保育所) * 軽体操 (来島基幹集落センター)	22 * 乳児・1歳6ヶ月児健診 (保健福祉センター)	23	24 * 島根県科学作品展 ~25日 (みせん)
25 * 来島文化祭 (来島基幹集落センター)	26	27	28 □ 赤名小授業公開 □ 飯南高校ロードレース大会	29	30	31 □ 頓原中文化祭

□ 教育 * 健康・保健 * 文化・体育 * その他



決められた日時をお守りください

し尿汲取り日

頓原地域 ▲ 72-1401
赤来地域 ▲ 76-2441

汲取り地区	汲 取 り 日			
頓 原	7日	9日	27日	29日
志 々	12日	14日		
赤 名	2日	4日	22日	24日
来 島	17日	19日		

※汲取り日が日曜日の場合は前後の日となります。

資 源 物	
収集地域	収集日
頓 原	21日 (水)
赤 来	28日 (水)

	金属類・粗大物	ガラス類
収 集 地 区	収 集 日	収 集 日
頓 原 連 坦 地	26日(月)	13日(火)
八 神 連 坦 地	28日(水)	15日(木)
志々・頓原の連坦地以外	27日(火)	14日(水)
赤 名 連 坦 地	19日(月)	5日(月)
来 島 連 坦 地	21日(水)	7日(水)
赤名・来島の連坦地以外	20日(火)	6日(火)